

結成20周年  
新たな大躍進  
に向け出発!

# 月刊 動労千葉

# 「シニア協定」は違法協定

## 東労組の裏切りは明白だ

「シニア協定」は、高齢者をはじめ労働者全体の雇用・権利・賃金・労働条件を根幹から揺るがし、破壊する重大な攻撃である。だがこれは、不当だというばかりか、明らかに法にも抵触する違法協定である。それを裏切り妥結し、しかも「成果」のように称して組合員をだまし、組織破壊攻撃や大合理化推進の道具に使うとするJR東労組のやり方は卑劣かつ犯罪的なものだ。

### 法では「当該事業主の継続雇用」が明記

「高齢者等の雇用の安定に関する法律」は次のように定めている。

第4条2 事業主は、その雇用する労働者が、その定年後も当該事業主に引き続き雇用されることを希望するときは、当該定年から65歳に達するまでの間、当該労働者を雇用するように努めなければならない。

法の主旨は明確に「当該事業主に引き続き雇用されることを希望する場合」は、その労働者を65歳まで雇用しなさい、ということだ。JR東日本のように、60歳で首を切り、採用試験を受け、受ければ関連会社に再雇用するなどというやり方を認めているわけではないのである。

さらにこの法律の第4条3では、労働大臣は、高齢者等職業安定基本方針に照らして、雇用延長制度の導入や改善に関する計画の作成を企業に指示したり、その計画の変更を勧告したりすることができると定められている。また、高齢者等職業安定基本方針は次のとおり定めている。

第4の1の② 65歳までの継続雇用を促進するため、希望者全員を対象とする60歳を超える年齢までの継続雇用制度の導入を促進する。……そのために、行政措置その他必要な指導を実施する。

当然のことだが、政府の基本方針でも「希望者全員を対象とする」とうたわれているのだ。

これだけを見ても、「東労組の組合員だけが救われる」などと称して組織破壊攻撃を加えるやり方の卑劣さ、ウソ・ペテンは明らかである。政府方針以下の協定を成果だとテッチあげてかつきまわり、差別・選別を煽るような連中は、もはや労働組合ではない。

### 職業安定法の精神にも違反!

「シニア制度」は、会社が再雇用先を紹介し、希望者は「採用試験」を受けて再雇用されるというものであり、これ

は職業紹介事業にあたるものである。しかも会社は、協定を結ばない組合は再雇用先紹介の対象にしないとしているが、これも職業安定法の精神に反するものだ。職業安定法では、「無料の職業紹介事業を行うものは労働大臣の許可を受けなければならない」とした上で、次のように定められている。

第5条 公共職業安定所及び職業紹介事業者は、求職の申し込みは全て受理しなければならない。

企業が職業紹介を行う場合の条件は、「求職の申し込みは全て受理しなければならない」ということなのだ。

会社は「JR社員だけに対象が限られており、JRが責任をもつ」のだから職業紹介事業にはあたらない」と主張して開き直り、労働大臣に認可すら受けようとしていないが、仮にその前提にたつたとし、協約を締結するか否かで再雇用先の紹介まで差別・選別するようなやり方が合法となるわけではないことは明らかだ。

### 労働基準法にも違反

そればかりではない。労働基準法第89条では、退職に関する事項は就業規則の必要記載事項に定められているにもかかわらず、これを就業規則に定めずに労働組合所属による差別扱いをし、ようとしていことも違法行為であり、

さらに「就業規則は労働協約に反してはならない」(労働基準法第92条)のだから、この点からも就業規則における退職者の扱いは、労働協約での再雇用手続きを下回することは許されない。

### 外注化との抱き合わせは明白な不当労働行為!

また、業務の外注化と抱き合わせ、ワンセットにした協定を結ばない組合の組合員を差別的に再雇用手続きから排除するとしていることは、労働組合法7条違反の不当労働行為でもある。最高裁では、併存する二組合に対して、年末一時金要求について、生産性向上に協力することをセットにして回答をだした使用者が、その条件を受け入れなかった一方の組合に所属する組合員に一時金を支払わなかったことを不当労働行為とする判決がだされてお

り(日本メールオーダー事件)、今回の「シニア協定」は、まさにこの類型と同じである。否、高齢者の継続雇用という、法的枠組みもできていない問題をこのように扱うことは、より悪質な不当労働行為にあたることは明らかだ。

### 東労組の解体を!

JR東労組・革マルが「60歳以上の雇用確保実現」などと称する「シニア協定」はこのように、まさに違法行為の固まりとしか言いようのないものだ。ましてや「覚書が前提、東労組以外は再雇用されない」などというキャンペーンは、100%デマ宣伝に他ならない。これはこの間の東労組の裏切りの総決算といふべきものだ。断じて許せない。今こそ東労組を解体しよう。